

ひめだ高宏ニュース

NO.1316

'20.11.3

日本共産党 和歌山市公議員

大阪市廃止、再び否決

やったネ!!

大阪市廃止の是非を問う住民投票が、日投開票（開票率）で、反対69万2996票、賛成67万5829票で、大阪市廃止は否決されました。日本共産党の山中智多大阪市長は「これでノーサイドにして、政令市を残してよかったです」と記者会見。一緒に市政を進めたい」と記者会見。

地域子育て支援施設削減

先週の「ひめだニュース」の「地域子育て支援施設の削減」の記事に、読者から減らされるのはどの地区か？との問い合わせがありました。

2020年度実施している施設と地区は下表の通りです。2021年度は各ブロックに1施設とするとのこと。このところのブロックが減らされることになります。

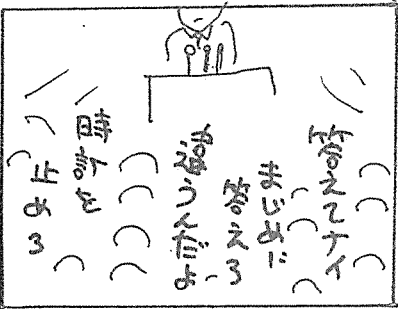
ブロック	施設	地区	2019年度実績
1	すみれ	松江	11,802人
2	さかえ	野崎	5,767
	ぐるんぼ	樟見	6,203
3	いさお	有功	5,913
4	こうま	小倉	4,316
5	しやうぶ	西山東	5,214
	ドレミ	三田	9,024
6	さつき	宮前	9,820
7	ようすい	雑賀	10,004
8	ポップズ	高松	7,104
9	キッズ	城北	7,059
10	わかば	城南	5,805

担当の地域子育て支援課によると、2021年度は全ブロックを対象に、公募して1ブロックずつ、応募状況によっては、現在1ブロック/施設の地区でも現事業所がそのまま残ることは限らないとのこと。子育て支援施設の削減は、施設の後退であり問題です。

フワ〜の人々



＜1099＞



職員採用試験受験案内

2021.4.1甲子

試験区分 行政職I種 電気職・機械職 各2人ずつ
 申込方法 郵送のみ 11月19日(木)までの消印有効
 第1次試験日 12月5日(土) 会場 和歌山市役所
 問い合わせ 和歌山市人事委員会事務局 4335-1371

今週のフワ〜の人々

(その262)

ウンをつくと舌抜かれる
 城北橋南詰の不動産さんが最近どこかに引っ越しました。それはさておき今回は、エンマさん(閻魔大王)の話。私は子どもの頃、「ウンをつくとエンマさんに舌を抜かれる」と言われました。エンマさんの法廷には魔鏡があり、生前の行為が鏡の場でスクリーンに上映されるとか。



ひめだ高宏

スガ政権誕生し、ようやく臨時国会が開かれ所信表明演説に対する代表質問がありました。アベ政権の継承が使命だといふスガ首相は説明責任の放棄を継続したよう。学術会議の任命問題でも文相は閣内閣外の繰り返し。「答えてない」「違ふんだよ」などのヤジにスガ首相は何度も議長に「静かにしてもうえませんか」と注意を求めたとか。もし議長がエンマさんなら生ぬるい答弁は許さないと怒ります。

市民と野党の共闘で新しい政治を

日本共産党の提案

ケアに手厚い社会へ

医療、介護、保育…命まもる労働を大切に

人間らしく働けるルールを

8時間働けば普通にらせる社会に

一人ひとりの学びを保障する

子どもたちに少人数学級のプレゼントを

消費税の減税を

格差をただし、家計応援の経済政策に

科学を尊重する政治を

PCR検査の抜本拡充で感染を抑え込む

文化・芸術を大切に作る国

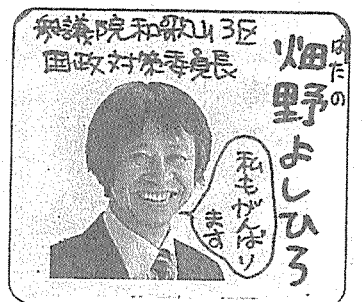
文化予算増やし、「文化芸術復興基金」をつくる

ジェンダー平等を

コロナ危機の対応にこの視点をつらぬいて

野党共闘の前進が政治を動かしています

- 改憲発議させず
- モリ・カケ・桜、疑惑、公文書偽造など徹底追及
- 検察庁法改悪許さず
- 1人10万円の定額給付金に変更させる



総選挙 比例区議ブロック(定数28)

この人たちを国会へ

180万票・4議席 絶対回復を

比例区議候補者

党議院議員(定数4) 宮本たけし 宮城5区立候補

党議院議員(定数4) 清水たけし 大塚5区立候補

党議院議員(定数4) 宮本たけし 宮城5区立候補

党議院議員(定数4) 清水たけし 大塚5区立候補

党議院議員(定数4) 宮本たけし 宮城5区立候補

党議院議員(定数4) 清水たけし 大塚5区立候補

比例代表は「日本共産党」と書いて下さい

政党名を小選挙区候補者の名前で記入名を書くは無効です

日本共産党和歌山市議団のホームページをご覧ください。

「日本共産党和歌山市議団」で検索を。

日々の各議員の活動報告などを掲載しています。

市議団 073-435-1113 FAX 421-4181

こどもたちは

日本共産党

文化を大切に作る国へ

11月3日は文化の日。

今年も新型コロナウイルスの脅威に見舞われ、日本の文化・芸術は戦後最大の苦境にあります。アベ首相による2月のイベント自粛要

請以後、コンサートや演劇、ミュージカルをはじめ多くのイベントが延期・中止を余儀なくされました。ぴあ総研の調査によると、ライブ・エンターテインメント業界は、今年2月から来年1月までの1年間で約6900億円の損失になると推計されています。こうした損失を出しながら、のべ2億2千万人の観客の足を止め、新型コロナウイルス感染拡大防止に貢献しました。ドイツは「文化はゼ」

いたくではない。生命維持に必要」と無制限の支援を表明。しかし日本の予算は500億円を推計損失額の1割にも達していません。文化・芸術を大切に作る国へ。

潮流 (20.11.2 日刊) 2050年までに温室効果ガスの排出を半減せよと所信表明で宣言した菅首相ですが国会答弁からは原発や石炭に固執する姿勢が見えてきます。エネルギー分野の取り組みで「再生可能エネルギーのみならず原子力や石炭を含めあらゆる選択肢を追求する」とあり「あらゆる選択肢」に「石炭を含め」とは、火力発電の中で温室効果ガスを最も多く排出する石炭を活用するということですが、世界第5位の温室効果ガス排出国の責任をどう考えているのか。期限を決めて石炭火力廃止をめざす欧州などの動きと正反対です▼「原子力」も選択肢とは驚きです。福島原発事故から9年以上たった、た今も、ふるさとに帰れない人々が多く、帰還困難区域が広く及んでいく現実を無視するものです▼3年前、日本学術会議が「事故から何ぞくみ取る」と提言を出しています。「将来においても過酷事故の可能性を想定しなければならぬ」、その対策費用の「額は事前に予測可能なものとはならない」。それは原発が「未完の技術」だからと指摘▼選択肢になり得ない理由はこれだけではありません。「使用済み核燃料や再処理によって生成される高レベル放射性廃棄物の安全管理や処分という難問」(提言)も、原発を動かせばこの廃棄物は増えるばかりです▼気候変動政策を強化するため行動する若者でつくるフライデー・フォー・フューチャー(未来のための金曜日)が訴えています。「将来世代を裏切らないよう政策を取って」

赤旗 日刊 3,497円/月 9300円/年